

豚への飼料給与

主な原料は

トウモロコシ
大豆粕
大麦
ふすま・・・
その他

飼料会社が配合して農家に販売する⇒ **配合飼料**

農家が原料を購入し、自分で配合する
自家配合もあります



成育段階により内容が異なる

栄養価の高すぎるエサを与えると、早く大きくなりすぎ、脂肪の割合が多くなったり赤肉の割合が少なくなったりします。

反対に栄養価の低いエサを与えると、発育が遅くなり肥育期間が長くなります。



リキッド方式の飼料給与



畜舎外部の飼料タンク



エサの量を調整可能

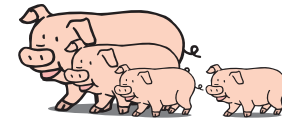


子豚～肉豚に与えるエサ

- 生まれたての赤ちゃん豚・・・お母さん豚のお乳
- 生後1週間程度・・・エサに慣れるように粉末状のミルク
- 離乳直後の子豚のえさの量・・・1日500g程度
- 体重15kg程度の子豚のえさの量・・・1日1kg程度
- 体重30kg程度の子豚のえさの量・・・1日1.5kg程度
- 体重80kg程度の肉豚のえさの量・・・1日3kg程度
- 体重100kgを超えた出荷前の豚・・・1日3kg以上

お母さん豚に与えるエサ

- ふだん食べる量は1日に2kg程度ですが、赤ちゃんにお乳をあげる時には、約3倍の6kg程度のエサを与えます。



初めて食べるミルク



出荷前の豚が食べるエサ



お母さん豚が食べるエサ


おいしい豚肉を食べたい



速く大きく育てたい

エサと肉質には大きな影響があります

給与するエサの違いによる成育のしかたと肉質

飼育前半		飼育後半		成育と肉質 
高栄養	低栄養	高栄養	低栄養	
○		○		成長は速いが、脂肪が多くなる
	○		○	脂肪は少ないが、成長が遅い
	○	○		脂肪が多くなる
○			○	経済的に良好で、この組み合わせが多い

肉質にはエサの他にさまざまな要因もあります。

図表中の数値は一般的なものであり、飼育方法により異なる場合があります。